

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 石垣 洋
編集者/ 教育・広報部

駅業務執行体制の再構築等について提案を受ける

16日、支社より「駅業務執行体制の再構築等について」提案を受けました。提案内容は以下のとおりです。

1 実施内容

- (1) 「話せる指定席券売機」の導入に伴う販売体制の見直し（磯子駅）
導入については8月31日とする。
- (2) 駅業務委託
石川町駅、横浜駅（南改札）
※株式会社JR東日本ステーションサービスに業務委託する
- (3) 管理区分の変更
石川町駅（関内駅管理とする）

2 周知・教育

必要な周知・教育は実施する。

変更後の標準数

箇所名	長	助役	営業	輸送	計	増減
磯子駅	1	5	16→13	6	27→24	△3
石川町駅	1→0	1→0	15→0	0	17→0	△17
横浜駅	1	16	95→86	10	122→113	△9

3 実施日

- (1) 2020年9月1日実施
「話せる指定席券売機」の導入に伴う販売体制の見直し（磯子駅）
- (2) 2020年11月1日実施
駅業務委託（石川町駅）
- (3) 2021年2月1日実施
駅業務委託（横浜駅[南改札]）

磯子駅の特徴的な意見

- ・出札は7月17日を持って廃止とする。現在のMVに（インターフォン・スピーカー）を設置し、出札の解体後にもう1台設置していく。お客様対応はオペレーターが遠隔で行う。
- ・オペレーターはJESSに委託し、東日本で1か所配置。開始時間は磯子駅の実態に合わせていく。
- ・窓口閉鎖後の券売機担当社員の配置については駅長と話し、進めていく。

駅業務委託の特徴的な意見

- ・駅業務委託に関しては、両箇所共にお客様のご利用減少してきている箇所であり総合的に判断した。
- ・異常時などは支社や関内駅等から行くことになる。駅としても助け合いは行っていく。
- ・石川町駅の早朝のリモート作業についてはこれからも継続していく。

不安・疑問点解消に向け、議論をつくり出します。